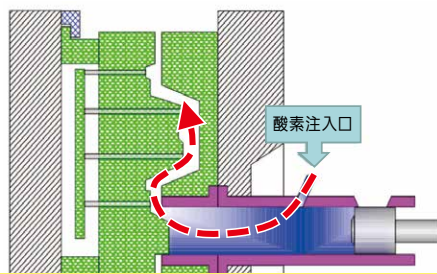


〔5〕ソフトPF装置

ブローホール対策
の決定版

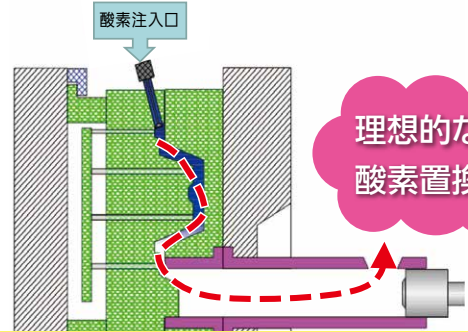
- 1) 酸素置換法で最も効率的な方式です (PFによるトラブル・誤解が解消されました)
- 2) ブローホール対策⇒即、真空法が一般的ですが、真空による様々な問題点生じます
- 3) 「スーパーダイカスト法」® はランナー加圧法とソフトPF法の実績から誕生しました

ガス巻込みを無くす → ブローホールを最小限に押えます



型中間停止+射出前進⇒酸素供給⇒
射出後退⇒注湯

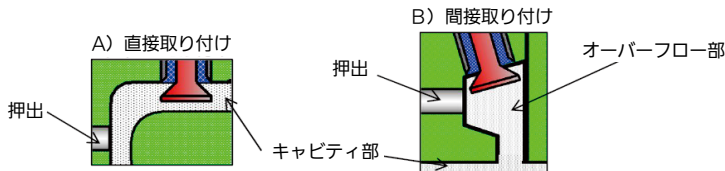
従来 PF 法



型締途中⇒酸素供給
【普通ダイカストのサイクルと同じ】

ソフト PF 法

No.	比較項目	真空法		P F 法		
		従来真空法	高真空法	従来 PF 法	ソフト PF 法	
1	ガス含有量 (100g 中)	約8cc	約3cc 以下	約3cc	約2cc (以下)	
2	方式による品質の影響	溶湯先引き・製品密度の低下		少ない		
3	方式によるトラブル	真空バルブの突発詰まり		メカなし	バルブ動作不良(頻度小)	
4	品質管理項目	開始位置・真空度		酸素流量・圧力		
5	離型剤・プラ潤	制限がない		水溶性・少量塗布を推奨(初期条件出し)		
6	金型	密閉性	中	大(Oリングシール)	不要	不要
		ガス抜きランナー	中	大(ポリウム大)	ゲート断面積の50%推奨	
8	二次充填時間	約30mSec	約50mSec	≒0	≒0	
9	工程のサイクル・加工時間	ガス抜きランナーの処理		特殊動作でサイクル遅れ	なし	
10	ランニングコスト・消耗品	200L 真空タンク電気代	1000L 真空電気代	酸素	酸素(従来の1/2)	



仕様一覧	①ソフトPF装置	②CDV大気放出装置	CDVユニット (共通)
型式	CDV-SPF	CDV-S	CDV4
特長	①DC法でガス量を最も低くする方法として考案・商品化 ②低速中のガスを排気するとブローホールが減少します		
酸素供給装置	○	×	×
サイズ (W×D×H) (mm)	400×600×160	400×600×160	90×80×72
重量 (kg)	40	40	10



<動画でのご紹介>



URL : <https://youtu.be/J4BflrFfArg>

スマホでご覧ください